

居眠れる獅子は目ざめぬ

三国丘サッカークラブ通信



Vol.14

June.2012

590-0023 堺市堺区南三国ヶ丘町2-2-36
 三丘同窓会事務局内
 三国丘サッカークラブ 発行
 TEL/FAX 072-238-3093
<http://www.mikunifc.net>

堺社会人リーグ1部での2シーズン目 辛くも残留!!



▲6月10日 対アルバトロス戦

■三国丘サッカークラブの近況

監督・田守 恵幸 高16回

三国丘サッカークラブの活動にいつもご理解をいただきありがとうございます。

堺社会人リーグの1部で頑張っています。2011年度のリーグ戦は後半3試合、上位チームとの対戦は1分2敗という結果に終わり、結局1勝4敗2分という成績で8チーム中6位という事でちううじて1部残留を果たしました。今のチーム状態ではこの成績もいたしかたなく妥当なところかなと思われまふ。いつもの事ながら毎試合メンバーを揃えるのに苦労をしている様な状態ではチームとしてまとまらず、実力を発揮するところまでいきません。結成当初からの懸案事項でしたが、まずメンバーを集める事、そして定期的に練習をする事、それが出来なければ中心メンバーの固定が出来ないし又チームのシステムも考えられせん。

今年は新年の初蹴りの際に、全員にアンケートをとり参加希望を聞きまふ。幸いに63回卒の若手メンバーが4名参加し、現在戦力になってくれています。8月5日の泉陽との定期戦の際にも声を掛けOB諸君の参加を募りたいと思ひます。

練習も出来るだけ機会を作るようにしたいと思ひます。

現在、堺種目別トーナメント大会が開催されています。我チームはベスト8、準々決勝まで勝ち進んでいます。何とか頑張りたいと思ひますのでご声援よろしくお願ひします。

又その後今年度のリーグ戦も始まります。出来るだけ多くの参加をいただき三国丘サッカークラブを盛り上げていただきたいと思ひます。

■2011年度を振り返って

マネージャー・コーチ 畑 拓興 高22回

堺社会人1部リーグの2年目の2011年度は、降格した7位カクテルFCと同勝点ながら得失点差で6位。辛うじて残留と言う結果になりました。運にも恵まれ何とか1部にしがみついたと言う結果になりました。

た。振り返ると開幕からの2戦を勝利と引き分けと好調にスタートしたものの、第3戦以降は選手集めにも苦労し、降格したカクテルFCとの直接対決で前半を0-0としながら後半スタミナ切れし0-4の惨敗。その後の秋冬の試合では固定メンバーを組むことも出来ない状況が続き、勝点の上積みが出来ませんでした。それでも何とか運に恵まれ残留となりました。

苦戦の原因は、クラブ設立以来の課題である『主戦メンバーの固定が出来ず、コンスタントな力が出せない、11人が集まらない』という結果に他なりません。毎年、大学生主体でスタートしますが、就活、就職と続き、通年でチーム力が一定しないために上位定着には程遠い状況です。三国丘SC設立以来6年が経過し、2012年度のチームは既に第4世代のメンバーになります。強いチーム作りからサッカーを楽しむチーム作りへの方向転換を考えながら進める必要が出てきているとも思ひますが、皆様のより一層の応援をお願いいたします。

■2012年へ向かっての抱負

キャプテン 菱川 直哉 高54回

昨年度の堺リーグ1部の戦績は、一昨年に引き続きなんとか残留という、不甲斐ない結果に終わってしまいました。

毎年の課題である練習不足に加わり、主要メンバーが仕事や、大学の卒業のために参加出来ない時期がありました。

このチームも6年以上たち、更なる世代交代の時期に差し掛かっているのだと思ひます。

リーグ後半からは、現在現役チームのコーチをしている生川君の力もあり平成生まれの若い戦力が充実してすこずつチームを建て直せました。最後の試合まで残留が危うかったのですが、なんとか踏ん張ったのは、若い力のおかげです。

今年も5月から堺市種目別大会のトーナメントが始まっていますが、新戦力が大いに活躍しております。

私も含め初期メンバーは、彼らの運動量に負けないよう日々トレーニングに励むとともにチームが更なる成長をするためにサポートをしていきたいと思ひます。

何より、このチームが今後も継続して、三国丘高校サッカー部のOB達のコミュニティになるべく活躍していきたいと思ひます。

この場をお借りしましてチームの運営をサポートして下さっているOBの皆様

第19回川淵杯

泉陽高校定期戦

8月5日(日)13:00~17:00

於・J-Green堺 S-7

真夏の恒例行事を開催します。

ボールを蹴って学生時代に戻り

親睦を深めましよう。

お礼を申し上げます。ありがとうございます!
 今年は必ずともタイトルをとりたいと思ひます!!

■創部100周年記念に向けて

三国丘サッカークラブ会長 野村 憲司 高4回

三国丘サッカークラブの会員の皆様には日頃からご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この三国丘サッカークラブ通信も14号となり、発行7年目を迎える事が出来ました。

これまで編集及び広告掲載にご協力戴いた方々に感謝いたします。

OBチームは堺サッカー連盟社会人リーグの1部に残留出来ました。現在は堺種目別トーナメントに出場しています。若きOBも参加して下さい。現役も新1年生が31名入部し、大所帯で練習に励んでおります。

私達の時代にはなかったサッカー部保護者会が5月12日(土)三丘会館で開かれ多くの父兄が出席されました。今後現役及びOBも共によき成績を残せるように私達も応援していきたいと思ひます。

これから100周年記念に向けて準備委員会を立ち上げたく思ひますので皆様のご協力をお願いします。

●2011年度堺サッカー連盟1部リーグ戦績

2011. 8/28	1-1	上野芝
9/19	3-0	堺けまり団
11/6	0-4	カクテル
12/11	1-1	プライド
2012. 1/29	0-3	ジャニーズ
3/25	0-2	フェニックス
4/15	1-2	新洋海運

●2012年度堺市種目別優勝大会

2012. 5/20	◎-2	羅生門
6/10	4-2	アルバトロス

三国丘SCチームの問合せ先

- 二宮 滋典 (高9) 072-262-1019
s-nino@kagami.net
- 大賀 龍一 (高9) 072-877-4115
dragon.oga@y4.dion.ne.jp
- 藤井 武夫 (高10) 072-245-3586
spuc2939@chime.ocn.ne.jp
- 田守 恵幸 (高16) 072-236-8854
shigeyukitamo@yahoo.co.jp
- 畑 拓興 (高22) 06-6993-8455
takuhata@bea.hi-ho.ne.jp
- 菱川 直哉 (高54) 090-6061-0287
zehnt_10@hotmail.com

■部歌「居眠れる獅子は目覚めぬ」の作詞をされました三国丘サッカークラブOBで堺中32期卒業、本年「白寿」を迎えられ手記を寄稿されましたので長寿をお祝いし掲載いたします。

サッカーとの出遇い

武井 昇 堺中32期

サッカーとなれば私の半生あるいは半生以上かもしれません。

大正の初め頃はだいたい体育というものが非常に遅れていた。それで小学生でスポーツをやっている者は一人もいなかったのです。一方に文化的に高揚しているのに体育面は非常に生活的に遅れているということ。今にして振り返ってみて非常に不思議に思っています。私はとにかくそういう時代に生まれ育ったのです。

小学校は天王寺師範付属小学校でしたが、付属小学校の主事は私の父の同窓なので問題なく入学できました。ところが入ってみて驚いたのが大阪知事を始め、さまざまな高級官僚、素封家、資本家の子供たちがほとんどでした。また、これは感心なことですが、身体の不自由な人、貧しい家の人も何人か入学していて、そういう意味では教育の面も考えていたとは思いますが。

なぜサッカーになったのかといえば当時天王寺付属小学校にはテニスコートしかなかったのです。それである秋に大会がありました。大会に各組で出場し争ったのですが、それがよく私の体に合っていたのでしょうか、よく優勝するようになりました。ところがどうもテニスの仲間には氏や育ちが違うらしい、何とも付き合いかねる、向こうもそう思っているかもしれないがそういう中でつい足が遠のくようになりました。

それと同時に友達というものがわたしにはできなかったのです。関市長の息子は立派な子どもでしたが、また前知事の孫とか、素封家の息子、それらについてどう考えても馬が合わないのです。それがまたテニスというものから遠ざかっていったところだと思えます。

ところで師範学校ですから、3時から後になると付属と師範学校の間にある大きなグラウンドにゴールポストが立つんです。いつの間にかこういうことになったのかと思ったのですが、そこで師範の一部の

生徒がサッカーを始めるようになったのです。一部というのは小学校の高等科二年を卒業して寄宿生活をしている人達のことをいいます。私は友達がいなかったから学校が終わったら居残ってその兄さん達の(主に農家の子供達でした)球拾いや中に混じってドリブルをするようになり、サッカーというものにだんだん気持ちが惹かれるようになり、庶民的な親しみというものが感じられていました。それで競うのも十一人でやりますから、一緒に遊ぶ者はいないけれど、兄さん達がよく遊んでくれました。

日本にサッカーが入ってきたのは、大正の初めだと思えます。私が付属にいたのは大正年間ですから、日本にサッカーが入ってきて間もないので何も知らないのです。だいたい何故入ってきたのかという明治の日本の教育の中で高等師範学校は師範学校の先生の養成ですが、学生を交代でヨーロッパへ勉強にやらせた訳です。その時に体育でヨーロッパはサッカーが盛んですから、それを日本でやれ、と教わってきたのです。ですからまず、サッカーは高等師範から入ったんです。高等師範の学生が卒業して就職すると、師範学校になります。それだから師範学校でサッカーが始まったのです。試合は師範学校同志のものとなったのです。これが日本のサッカーの第一のスタートなのです。(次号へつづく)

サッカー一部保護者会 新会長より 会長 八木 暁子

第3期(平成24年度)三国丘高校サッカー一部保護者会会長をつとめさせて頂きます。31名の1年が入部し、70人の大所帯になりました。保護者会役員も14人と増え、試合の後方支援をしていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。



▲春期大会3回戦 試合前の集合写真 1月22日(日)J-G堺

事務局だより

年会費納入のお願い

今年度の年会費につきまして、昨年末から多くのご納入を頂いていますが、まだの方はご協力のほどお願い申し上げます。同封の郵便払い込み用紙(手数料無料)をご利用ください。

2012年度 1月~12月

(年間) **3,000円**

すでに払い込み頂きました諸兄姉はなにぞご容赦くださいますよう。

現役の活動状況

平成23年度大阪高校新人サッカー大会

- 1回戦 8-0 貝塚・貝塚南合同
- 2回戦 7-0 茨田
- 3回戦 5-0 泉北
- 4回戦 0-5 履正社

大阪高校総体 兼 選手権大阪大会

- シードにより3回戦から
- 3回戦 1-0 城東工科
- 4回戦 0-2 大商学園

高円宮杯U-18サッカーリーグ

- 1部リーグAグループ
- 第1節 0-2 東海大仰星
- 第2節 0-6 履正社

2012年 初蹴り会報告



日本晴れの1月2日年中行事の初蹴り会が母校グラウンドで行われました。本年も70余名に及び若手、シニアOBの参加をしていただき、気分は学生時代に帰り、ボール蹴りに魅せられた1日でした。

第2回げんき会

■平成24年4月6日 於:大阪ゴルフクラブ
川淵三郎氏を中心に三国丘高泉陽シニアOB達との親睦コンペが盛大に開催され三国丘サッカークラブのシニアも9名の参加をしていただきました。

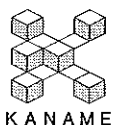


平成23年度会計報告

(平成23年12月31日現在)

収入の部		支出の部	
前年繰越	263,870	通信・送料・事務用品費	191,960
年会費	303,000	会議費(会議室使用料)	6,000
寄付金	25,000	機関誌印刷費	37,170
広告	100,000	泉陽定期戦負担分	145,240
泉陽定期戦当日会費	55,500	ホームページ維持費	48,520
雑収入(預金利息)	27	三丘体育会関係	25,000
Tシャツ、ユニホーム売却	1,000	慶弔見舞関係	0
その他	0	初蹴り関係費用	8,944
		現役活動補助	50,000
		リーグ加盟関係費	105,450
		次年度繰越	130,113
合計	748,397	合計	748,397

藤井 武夫 高10回



工業薬品の製造加工・販売(設立 昭和27年5月)

要薬品株式会社

代表取締役 嶋田 誠 (高校14回)
E-mail m.shimada@kaname-chem.co.jp

本社 〒550-0003 大阪市西区京町堀3丁目2番7号
TEL.06-6445-0444 FAX.06-6445-0458
臨海第1工場 〒592-8352 堺市西区築港浜寺西町14-1
臨海第2工場 〒592-8352 堺市西区築港浜寺西町8-18
URL:http://www.kaname-chem.co.jp
全社ISO9001及び14001認証取得



総合建設

キタケン工業株式会社

代表取締役 北田 義和 (高校17回)

〒590-0956 堺市堺区中之町東4-3-32
TEL.072-221-1648(代)
FAX.072-221-0780